

## 中部運輸局海事振興部

平成 30 年 1 月 29 日

公共交通の先進的な取組を  
支援等しています[http://www.tb.mlit.go.jp/chubu/minpro\\_ex/](http://www.tb.mlit.go.jp/chubu/minpro_ex/)

中部運輸局人材確保・育成対策推進本部

中部運輸局海事振興部

船員労政課 小倉、木原

TEL: 052-952-8028

**若年船員の確保対策について意見交換を行います****～ 「若年内航船員確保対策懇談会」を開催 ～**

国内間における海上輸送を行う内航海運は、国内貨物輸送の 44%、産業基礎物資（石油製品、鉄鋼、セメント等）輸送の約 8 割を担う我が国の基幹的輸送インフラとして国民の経済や生活を支える重要な役割を担っています。

一方、内航海運の船員の年齢構成は 55% が 50 歳以上、約 30% が 60 歳以上と、船員の高齢化は深刻な状況であり、また、船員の有効求人倍率は、陸上産業 1.55 倍に比べ、約 1 ポイント高い 2.51 倍で推移しています。（別表 I、II 参照）

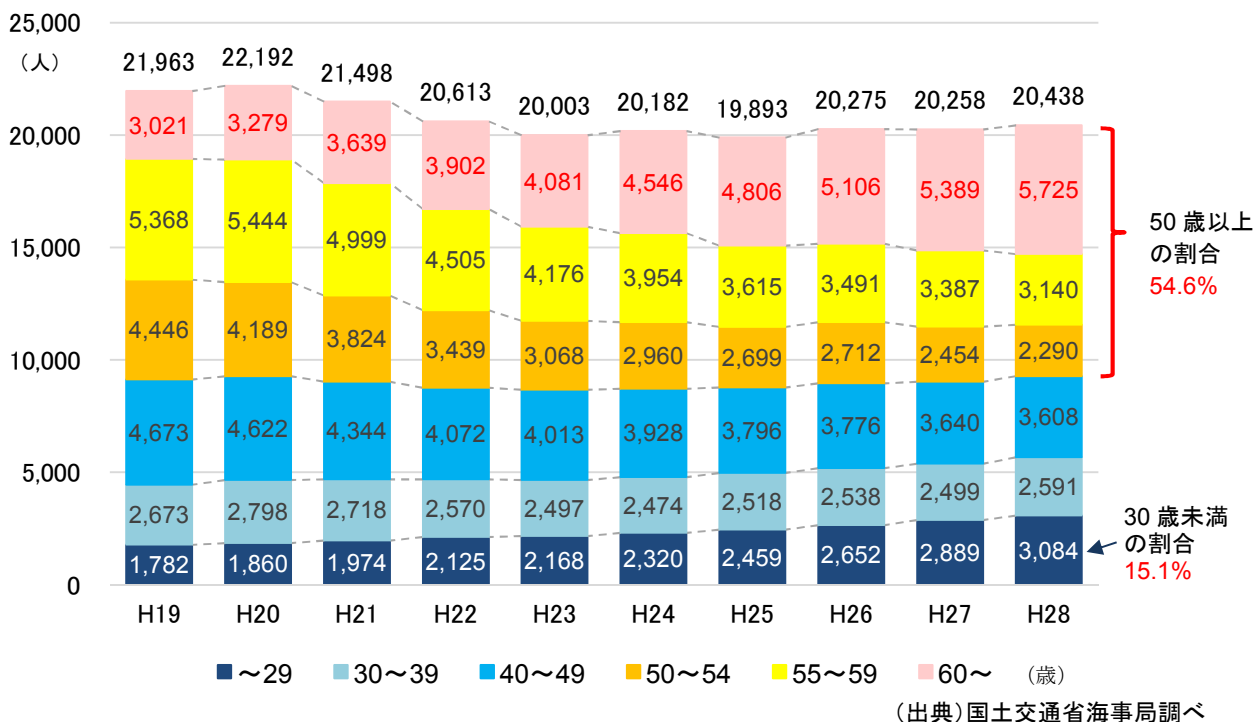
中部運輸局では、こうした現状を踏まえ水産系学校及び海運関係者による懇談会を開催し、内航業界への就職の潜在的なニーズを掘り起こし、若年船員の雇用確保・育成と内航船員の裾野拡大に向けての対策を検討します。

## 記

1. 日 時 2 月 16 日（金）10:00～11:45
2. 場 所 名古屋合同庁舎第 1 号館 1 1 階共用会議室
3. 構成者 管内水産高等学校・商船高専及び清水海上技術短期大学の進路指導担当者、内航海運関係団体、内航海運事業者及び中部運輸局（事務局）
4. 議 題（予定）
  - ・各校における最近の就職状況等について
  - ・船員の求人状況等について
  - ・若年船員確保の取り組み等について
  - ・意見交換

※取材は冒頭の主催者挨拶までとさせていただきます。

## I 内航貨物船の船員数の推移



## II 船員の月間有効求人・求職数及び有効求人倍率の推移

